

c111-024-017

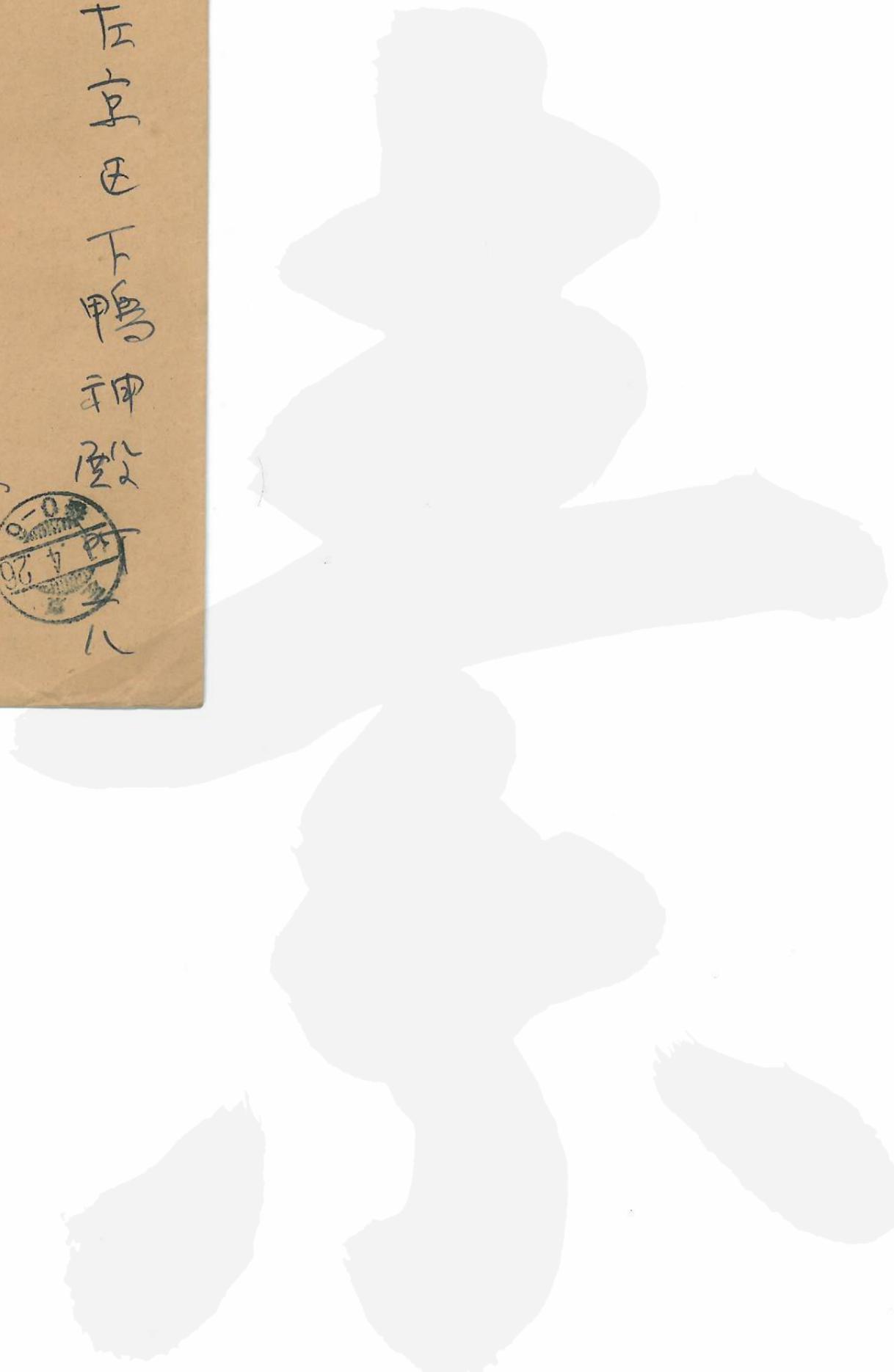
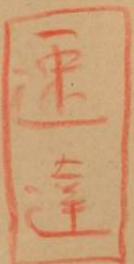
©2022 YHAL, YITP, Kyoto University
京都大学基礎物理学研究所 湯川記念館史料室



湯川
秀人
樹

先生

京都市左京区下鴨
神登
八



No.3

種々の分野、階層の人々には、原子力関係の先生の御仕事
の役に立つことなら、喜んでやまといふ人が多くいるのびひおいま
すから、ぜひ人々の効率のよい連絡法を考へようね、もう少し
原子力委員会をおつとめになさるべきところを存じます。もう少し
にやることは、小生にも容易に観望せられたいと感心せうねます。

新聞記事の一面、西不快になつておられることをこの分は拝察の申し上げ
るから、先生の御手をおたえ、取立て一筆したためてお詫言ひの
います。次に西上京の来月十日と以ては、是非おめにわかる
様りあります。

甘野良

湯川博士・辞意を表明

“原子力委員にたえず”



原子力委員湯川秀樹博士(非常勤)は、このほど原子力専門委員井上健氏(京大理学部助教授)を通じて、正力原子力委員長に「原子力委員を辞任したい」という意向を表明し、湯川博士は辞意を表明するにあたって「(一)政治的な地位にあることが、研究活動を阻害する。(二)健康上の理由の二点を挙げています。しかし、原子力委員は、原子力局長や原子力局長が、従来継続的な進捗を行い、原子力委員の意見を重視し、とくに正力委員長の原子力委員に対する処遇については非難的であった。【写真】湯川博士」

正力国務相に不満? 藤岡博士も辞任か



①正力委員長 ②藤岡委員

原子力委員のこのよ様な態度は、湯川博士は去る一月の「動力船研究」の藤岡博士を、始め藤岡、有沢各委員は、この「原子力委員」の一言の相談なしに、この原子力行政に重大な影響を及ぼす発言を、あつた。本米民主的台議は、この委員が「委員の意思で動かされるように、今後原子力委員の地位に、とまるとは、できない」と、強硬な態度を見せ、

残念なことだ

有沢委員語る

正力委員長からわれわれ委員には、また一言の相談もない。また湯川博士からも話はないので、今のところ何ともいえない。健康上の理由なら仕方ないが、意見の対立というふうなことであれば、堂々と辞める理由を述べられるものと信じている。うちのうちに辞められるとすれば、夜明けを迎えたばかりの日本原子力行政にとって、全く残念なことになる。

藤岡委員は今のところ湯川委員の留任を極力認認しているが、湯川委員の辞意は相当固いものと思われる。湯川委員の辞意の理由は、表面は、原子力委員長の理由に対する個人的な感情が主要な原因であることは事実であり、藤岡委員あたりも最近しばしば正力国務相の原子力委員会の運営方法については遺憾の意を表明している。ことに最近原子力委員が、湯川委員に推薦した武山(原子力研究所所長)が正力氏の手で東海村に簡単にすりかえられたことは、湯川委員の不満を

もっているのが実情である。湯川氏辞任問題は正力国務相の今後の原子力委員会運営の試金石になると考えられるが、正力氏の出方によっては、湯川委員の今後の動向は極めて注目される。【京都】湯川博士、井上助教授は廿四日夜の如く語った。湯川博士の話、そのことはいま何も言いたくない。井上助教授に聞いてほしい。井上助教授の話、正式辞表ではないが湯川先生の立場は就任のときから了解してもらっている。原子力問題が重要な時期を迎えている